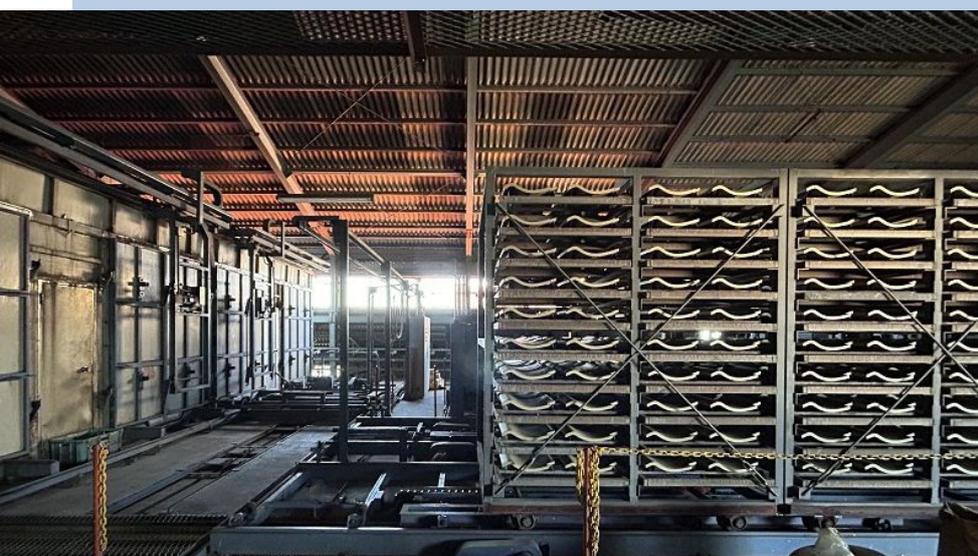


12 2024

JIA 近畿支部 住宅部会通信



目次

表紙写真

11月例会 大栄窯業 工場

例会報告

11/9 JIA 近畿支部住宅部会 11月例会

Column

Information

24.11.9

JIA 近畿支部住宅部会

11月例会

見学会：

「淡路島、瓦と建築の今！」

担当世話人：川添純一郎 大西多

参加者：正会員14名（スタッフ含む）、学生2名 計16名



瓦の伝統と現代建築が共鳴する淡路島を巡る特別ツアー

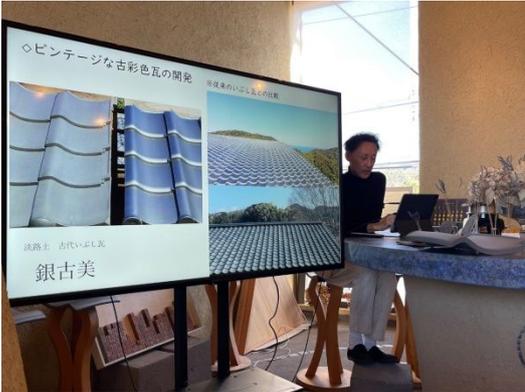
現在、淡路島では観光地として商業施設の建設が盛んに進められています。こうした状況の中で、淡路島の建築に何か新たな価値を見出せないかと考え、「瓦」に焦点を当てたイベントを企画しました。

まず、淡路市野田尾地区の滞在型市民農園施設および、阿曾芙実建築設計事務所が設計した農園付き住居を見学しました。



山の斜面に広がる田園の曲がりくねった道沿いに、農園施設がありました。地域の交流施設としてよく活用されているようでした。

そこから歩いて10分ほどで淡路市野田尾の農園付き住居があります。こちらは年単位契約での住宅で、住民票を移すことが出来ない施設です。かかるコストを想定すると、この住宅群だけの収益ではなく、市の長期的なビジョンで計画されたプロジェクトの様です。何れも、集落の中での見え方、軒の高さのコントロールなどデザインのコンセプトを感じることが出来たと思います。



昼食後、瓦の工房である大栄窯業を伺い、瓦師・道上大輔さんより瓦についてお話しいただきました。瓦・建築・街並み・風景に至るまでの熱いお話を伺うことが出来ました。それぞれ、歴史、白銀比、現在の瓦の状況など分かりやすく引き込まれる内容です。私自身、屋根についての考え方を一度見直すきっかけになるかもしれません。

その後、旧加藤邸再生活用プロジェクト（小山隆治建築研究所）の現場にも移動しました。小山さんが参画してからすでに5年以上が経過し、来年末の竣工を目指して進められている大規模なプロジェクトです。まず外周の塀の保存と改修から始まり、外観や内観の詳細な説明もいただきました。既存部分と新しく更新される部分をバランス良くデザインし、調和を図っている様子が印象的でした。

途中、渋滞が懸念されましたが、特に問題もなく無事に予定を終えることができました。



川添純一郎

Column

いつも通り12月が来てすぐに年の瀬になってしまいます。今年も例外なく。

一年間お世話になりました。自分自身可能な限り例会に参加したいと思っているのですが、毎日に追われて今年は6割でした。

活動して多くのことを学ばないと、と心戒めて来年につなぎます。

つい今しがたCMで松田優作（CG）が言っていました、

「顔ってさ、やってきたこと全部出るよ。」

自身の顔を鏡で見て年を越したいと思います。

松本和也

Information

- ・ 1月例会 2025年1月11日(土)10:00~12:00
@綿業会館新館2階中会場
「住まいとまちの復興~
阪神・淡路大震災30年に寄せて」
講師：大月敏雄氏

2025年1月17日の阪神・淡路大震災30年を機に、災害復興への意識を高め、建築家としての行動理念を考える重要性を共有するため、東京大学教授・大月敏雄氏と住宅部会代表・白須寛規氏による「住まいとまちの復興」をテーマとしたトークセッションを企画しました。

後援：JIA 近畿支部 都市デザイン研究会・災害対策委員会

<https://jiakinki.org/pickup/19031.html>



- ・ 世話人会 2025年1月6日(月)16:30~17:30
@ZOOM

近畿支部住宅部会：

<https://www.jia.or.jp/kinki/category/iinkai/jyuutaku>

住宅部会 HP：

<http://jia-kinki.org/jyutaku/>

住宅部会 FB：

https://www.facebook.com/profile.php?id=100064617584626&ref=embed_page

住宅部会Instagram：

https://www.instagram.com/japan_architects_kinki/